

第5節 カリキュラム・マネジメント

カリキュラム・マネジメントとは・・・各学校の実態を把握し、学校の教育目標を共有化し、教科等横断的な視点から、それが達成可能なカリキュラムを計画・実施した上で、評価・改善していく一連のサイクルをさす。

「カリキュラム・マネジメント」の三つの側面

- (1) 学校教育目標を踏まえた教科等横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していくこと。
- (2) 教育内容の質の向上に向けて、実態把握し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立すること。
- (3) 教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせること。

教科等横断的な視点に立って育成する資質・能力

- ①他の教科等における指導と関連付けられるもの。
- ②すべての学習の基盤となるもの。
- ③現代的な諸課題に対応して求められるもの。

考えられる具体例

- ・他教科で年間学習計画を共有し合うことにより関連性をもたせる。
- ・単元の実施順序を配慮する。 マット運動 → 柔道
- ・単元の実施時期に配慮する。 陸上（短距離走） → 体育祭

授業を行うにあたっての注意点

- ・他教科との関連を意識するあまり、その教科本来の指導事項があいまいにならないようにしましょう。
- ・各教科等で育成を目指す資質・能力を確実に身に付けさせましょう。
- ・実践を進めながら、PDCAサイクルを活用し、よりよくしていくことが大切です。